

第 10 回 「国際スポーツ報道 ～中国マスコミの北京オリンピック報道」

2008 年 7 月 1 日

中国新聞社

東京支局長 朱 沿華

1 発表者のプロフィール

中国新聞社 東京支局支局長 朱 沿華 (シュ エンカ)

2000 年 7 月 中国新聞社入社 政治と文化担当

2004 年 10 月 来日留学

2005 年 4 月 上智大学院新聞学専攻修士課程入学 (金山ゼミ)

2007 年 3 月 上智博士前期課程修了 (修士)

2007 年 5 月～ 東京支局着任

2 中国新聞社について

1958 年、華人華僑から資金を集め設立

海外在住の華人、華僑向けの通信社

本社は北京

支局は全国各地とアメリカ、日本、イギリス、フランス、ロシア、カナダ、タイ等
海外中国語系新聞紙、放送局、ニュースサイトに記事、写真、動画を提供

「中国半官方通信社」

雑誌『中国ニュース週刊』の日本語版は『月刊中国ニュース』

3 中国マスメディアによる北京オリンピックの報道

(1) 特徴：注目度アップ、規模大、競争激化

(2) 中国社会のオリンピック感情

1 歴史的コンプレックス

2 最も注目されるスポーツイベント

3 大雪災害、チベット問題、聖火リレー、四川大地震後のオリンピック

(3) 中国マスコミのオリンピック報道 (中新社を例にとって)

大オリンピックと小オリンピック

4 チベット問題と聖火リレーの西側報道について

(1) 中国国民：CNN、BBC をはじめとする先進国のマスコミに対し→
信頼から失望、怒りへ==>中国はどのように国際社会に融合しつつあるか？

(2) 二つの解決策： 1 中国社会を一層オープンにさせる

2 海外華人、華僑と留学生が「発信体」に

以上